

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

CLIPPEDIMAGE= JP411206536A

PAT-NO: JP411206536A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 11206536 A

TITLE: COLLAPSIBLE DECORATIVE FRAME FOR GARDENING
POT

PUBN-DATE: August 3, 1999

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
SAGOU, SHIGEMI	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
MOKUTORASU:KK	N/A

APPL-NO: JP10026423

APPL-DATE: January 22, 1998

INT-CL (IPC): A47G007/08

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a collapsible decorative frame for a gardening pot capable of harmonizing various appreciating plants with surrounding nature by covering outside walls of the gardening pot and capable of improving transport efficiency/ housing efficiency by folding up the decorative frame when necessary.

SOLUTION: A wooden main wall member 2 to cover one of a set of outside

walls

having the longer length among two sets of opposed outside walls of a gardening

pot of an almost rectangular solid to plant various appreciating plants, two wooden collapsible wall members 3 and 4 connected to/supported by both ends of

the main wall member 2 so as to be collapsible inside by covering a set of respective outside walls having the shorter length among the outside walls and a wooden fitting/installing wall member 5 fitted to/installed in the end parts of the two collapsible wall members 3 and 4 so as to be attachable by covering the other of a set of outside walls having the longer length among the outside walls, are provided/assembled. A gardening pot is housed in a space enclosed by these four wall members 2, 3, 4 and 5 to hide the outside walls of the gardening pot.

COPYRIGHT: (C)1999,JPO

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-206536

(43)公開日 平成11年(1999)8月3日

(51)Int.Cl.⁶

A 4 7 G 7/08

識別記号

F I

A 4 7 G 7/08

審査請求 未請求 請求項の数2 F D (全 5 頁)

(21)出願番号 特願平10-26423

(22)出願日 平成10年(1998)1月22日

(71)出願人 395013740

合資会社モクトラス

岐阜県美濃加茂市古井町下古井450番地の
1

(72)発明者 佐合 淑美

岐阜県美濃加茂市古井町下古井450番地の
1 合資会社モクトラス内

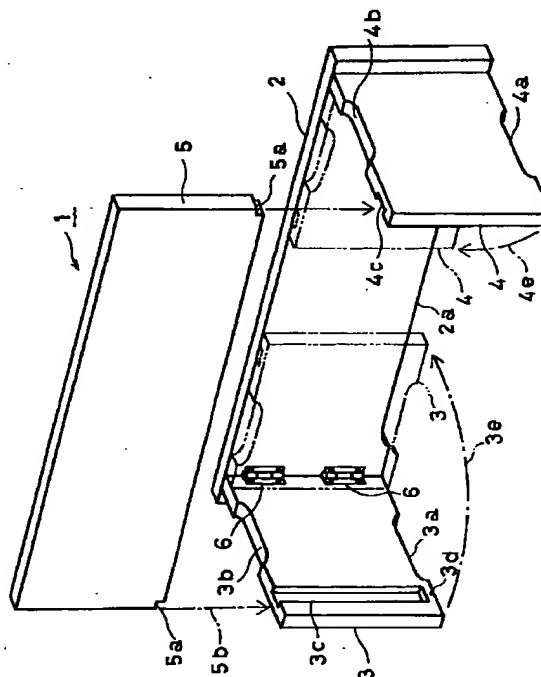
(74)代理人 弁理士 前田 勘次

(54)【発明の名称】 園芸鉢用折畳式裝飾枠

(57)【要約】

【課題】 園芸鉢の外部側壁を覆い各種鑑賞用植物を周囲の自然と調和させることができるとともに、必要に応じて折畳むことにより、運搬効率及び収納効率を向上させた園芸鉢用折畳式裝飾枠を提供する。

【解決手段】 各種鑑賞用植物を植える略直方体の園芸鉢の対向する2組の外部側壁のうち長さが長い方の組の外部側壁の一方を覆う木製の主壁部材2と、前記外部側壁のうち長さが短い方の組の外部側壁の各々を覆い前記主壁部材2の両端に内側へ折畳み可能に連結支持された2つの木製の折畳壁部材3、4と、前記外部側壁のうち長さが長い方の組の外部側壁の他方を覆い2つの前記折畳壁部材3、4の端部に着脱可能に嵌着される木製の嵌着壁部材5とを備え、組立てることにより、これら4つの壁部材2、3、4、5に囲われた空間内に前記園芸鉢を収容させ、前記園芸鉢の外部側壁を覆い隠す。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 略直方体の園芸鉢の長さが長い方の外部側壁の1つを覆う木製の主壁部材と、前記園芸鉢の長さが短い方の外部側壁の各々を覆い、前記主壁部材の両端近傍に内側へ折畳み可能に連結支持された2つの木製の折畳壁部材と、前記園芸鉢の長さが長い方の外部側壁の他の一つを覆い、2つの前記折畳壁部材の端部近傍に着脱可能に嵌着される木製の嵌着壁部材とを具備することを特徴とする園芸鉢用折畳式装飾枠。

【請求項2】 前記主壁部材、折畳壁部材、及び嵌着壁部材のうちの少なくとも1つの下端部には、部分的に内側より外側へと通じる切欠部が設けられていることを特徴とする請求項1に記載の園芸鉢用折畳式装飾枠。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、園芸鉢用折畳式装飾枠に関するものであり、特に、各種鑑賞用植物を植える園芸鉢の周囲を取り囲んで園芸鉢を隠蔽する園芸鉢用折畳式装飾枠に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来より、街角、公園、或いは舞台等には、鑑賞、装飾のための各種鑑賞用植物が植木鉢、或いは園芸鉢等に植えられて並べられる。そして、これらの各種鑑賞用植物は、植木鉢、園芸鉢等と共に所望の位置に自由に移動ができる。

【0003】このような各種鑑賞用植物が植えられた植木鉢、園芸鉢等は、通常、陶磁器、各種合成樹脂等からなる人工的なものであり、外部側壁が露出しており、各種鑑賞用植物が人為的に配置されたことを強調し、風情を損うことが多い。このため、園芸鉢の外部側壁が見えないように木箱等で覆う試みがなされている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかし、上記のような園芸鉢の外部側壁を覆う木箱は、通常、木工場等で箱状に組立てられており、全体の大きさが園芸鉢よりも更に大きく嵩張るため、実際の使用現場まで搬送するのに運搬効率が悪かった。また、各種鑑賞用植物が植えられた植木鉢、園芸鉢等は、必要に応じて移動をすることがあるが、この場合にも園芸鉢の外部側壁を覆う木箱を移動する必要が生じ、この移動距離が長くなると、木箱を箱状のまま搬送しなければならず、運搬効率が悪かった。つまり、この木箱の体積の略全体を占める内部は空洞であり、例えば、トラック等で運搬する際には、各木箱内部の空洞部分が有効に使われることなく、単に、トラックの積み荷収容スペースを占有するだけであった。

【0005】さらに、鑑賞用植物は季節に応じて一定期間だけ配置されることがあり、例えば冬季等の場合には、園芸鉢の外部側壁を覆う木箱を倉庫等に収納しておくことになるが、箱状のままであると、多くの収納スベ

ースが必要であり、極めて収納効率が悪かった。

【0006】そこで、本発明は、園芸鉢の外部側壁を覆い各種鑑賞用植物を周囲の自然と調和させることができるとともに、必要に応じて折畳むことにより、運搬効率及び収納効率を向上させた園芸鉢用折畳式装飾枠の提供を課題とするものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】請求項1の発明にかかる園芸鉢用折畳式装飾枠は、略直方体の園芸鉢の長さが長い方の外部側壁の1つを覆う木製の主壁部材と、前記園芸鉢の長さが短い方の外部側壁の各々を覆い、前記主壁部材の両端近傍に内側へ折畳み可能に連結支持された2つの木製の折畳壁部材と、前記園芸鉢の長さが長い方の外部側壁の他の一つを覆い、2つの前記折畳壁部材の端部近傍に着脱可能に嵌着される木製の嵌着壁部材とを備えたものである。

【0008】ここで、折畳壁部材を主壁部材の両端に内側へ折畳み可能に連結支持させるには、蝶番があるが、蝶番以外を用いてもよい。

20 【0009】したがって、請求項1の発明の園芸鉢用折畳式装飾枠によれば、園芸鉢用折畳式装飾枠を組立て、その収容空間内に園芸鉢を収容することにより、園芸鉢の外部側壁を本物の木で覆い隠すことができ、必要に応じて嵌着壁部材を折畳壁部材の端部から離脱させて折畳壁部材を折畳めば、全体の大きさが小さくなる。

【0010】請求項2の発明にかかる園芸鉢用折畳式装飾枠は、請求項1の園芸鉢用折畳式装飾枠において、主壁部材、折畳壁部材、及び嵌着壁部材のうちの少なくとも1つの下端部には、部分的に内側より外側へと通じる切欠部が設けられているものである。なお、切欠部の数及び形状は、特に限定されるものではない。

30 【0011】したがって、請求項2の発明の園芸鉢用折畳式装飾枠によれば、請求項1の園芸鉢用折畳式装飾枠の作用に加えて、園芸鉢用折畳式装飾枠を組立て、その収容空間内に園芸鉢を収容した状態で、設置面を流れる雨水等の移動を妨げない。

【0012】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について説明をする。図1は本発明の一実施形態である園芸鉢用折畳式装飾枠を示す斜視図である。

【0013】図1に示すように、本実施形態の園芸鉢用折畳式装飾枠1は、主壁部材2、折畳壁部材3、4、及び嵌着壁部材5から構成されている。

40 【0014】各壁部材2、3、4、5は、各々略長方形の木製の板材からなる。各壁部材の長さは必ずしも一定ではないが、高さは一定である。各壁部材の長さは、通常、主壁部材2が一番長く、嵌着壁部材5が主壁部材2よりやや短く、折畳壁部材3、4の長さが嵌着壁部材5の長さの半分より短い。なお、折畳壁部材3、4の各長さは等しい。

【0015】主壁部材2の長手方向の両端近傍には、折畳壁部材3、4が長手方向の一端で連結されており、各折畳壁部材3、4は主壁部材2に対して垂設状態のときに互いに対向する位置で平行に向かい合っている。なお、折畳壁部材3、4は、いずれも蝶番6により主壁部材2の端部に連結支持されており、対向する方向、つまり、矢印3e、4eに示すように内側に折畳むことができる。そのため、折畳壁部材3、4は、必要に応じて、二点鎖線で示すように、主壁部材2の内面に重なるまで、折畳むことができる。

【0016】また、折畳壁部材3、4の各他端近傍の対向する位置には、縦方向に沿って凹状溝3c、4cが設けられている。この凹状溝3c、4cは、共に折畳壁部材3、4の上側が開放され、下側が閉ざされて係止部3dとなっている。このような凹状溝3c、4c間の距離は、嵌着壁部材5の長さ等しい。

【0017】このため、矢印5bに示すように、嵌着壁部材5の長手方向の両端部を各凹状溝3c、4cに各々嵌着させることによって、園芸鉢用折畳式装飾枠1は、1つの閉じた枠体となり、使用可能な箱状態となる。

【0018】なお、嵌着壁部材5の長手方向の両端の角部分には、切欠部5aが形成されており、嵌着壁部材5を凹状溝3c、4cに嵌着させたときに、切欠部5aと係止部3dとが嵌合するようになっている。したがって、嵌着壁部材5は、折畳壁部材3、4の凹状溝3c、4cに嵌着することにより、折畳壁部材3、4と高さと同じになるところで位置決めされる。

【0019】こうして組立てられた園芸鉢用折畳式装飾枠1は、図2及び図3に示すように、鑑賞用植物13が植えられた園芸鉢11の外部側壁を囲うのに使用される。図2は本発明の一実施形態である園芸鉢用折畳式装飾枠の使用状態を示す斜視図、図3は図2の縦断面を示す断面図である。つまり、園芸鉢用折畳式装飾枠1には、4つの壁部材2、3、4、5で囲われた収容空間1aが形成される。この収容空間1aに園芸鉢11を収容させることにより、園芸鉢11の外部側壁を覆い隠すことができる。

【0020】園芸鉢11は、全体が合成樹脂の一体成形品であり、対向する2組の外部側壁を備え、一方の組の対向する外部側壁が他方の組の対向する外部側壁より長くなっている。つまり、全体が一方に長い略直方体をしている。園芸鉢11の内部には、土12が敷き詰められており、鑑賞用植物13が植え付けられている。

【0021】園芸鉢用折畳式装飾枠1の収容空間1a内に園芸鉢11を収容した状態では、園芸鉢11の対向する2組の外部側壁のうち長さが長い方の組の外部側壁を主壁部材2と嵌着壁部材5とが覆い、短い方の組の外部側壁を折畳壁部材3、4が覆う。そのため、合成樹脂からなる園芸鉢11の外部側壁は木製の園芸鉢用折畳式装飾枠1により全て覆い隠され、あたかも鑑賞用植物13

は、木製の園芸鉢に植え付けられた状態になり、鑑賞用植物13が自然と調和した状態になる。

【0022】また、園芸鉢用折畳式装飾枠1は、未使用時には、嵌着壁部材5を凹状溝3c、4cから離脱させた状態で、折畳壁部材3、4を折畳むことができ、全体の大きさを小さくすることができる。そのため、限られた空間に、より多くの園芸鉢用折畳式装飾枠1を収納することができ、運搬効率及び収納効率がよい。

【0023】例えば、街角、歩道、或いは公園等の屋外に配置した園芸鉢11に本実施形態の園芸鉢用折畳式装飾枠1を使用すれば、園芸鉢11の外部側壁が露出するのを防止でき、鑑賞用植物13をより自然に適合させることができる。また、舞台や各種催物の展示場等に配置した園芸鉢11に本実施形態の園芸鉢用折畳式装飾枠1を使用すれば、鑑賞用植物13のより自然な状態を演出することができる。しかも、園芸鉢11の各配置場所へ本実施形態の園芸鉢用折畳式装飾枠1を搬送するとき、或いは持ち去るときには、折畳んだ状態で運搬することができるので、1台のトラック等の限られた荷台に一度に多くの園芸鉢用折畳式装飾枠1を積載することができ、運搬効率がよい。さらに、園芸鉢用折畳式装飾枠1を倉庫等に収納しておく場合にも、収納スペースが少なく済む。

【0024】加えて、本実施形態の園芸鉢用折畳式装飾枠1は、各折畳壁部材3、4の上端及び下端の両端に切欠部3a、3b、4a、4bが、主壁部材2の下端に切欠部2aが各々設けられている。切欠部2a、3a、4aは、園芸鉢用折畳式装飾枠1を配置したときに設置面に接する側に設けられており、園芸鉢11へと注がれる雨水等の過剰分を排水させる役割を果たしている。一方、切欠部3b、4bは、園芸鉢用折畳式装飾枠1を組立て、その収容空間1a内に園芸鉢11を収容したり、取出したりするときに、園芸鉢11に手を掛け易くしている。

【0025】このように、本実施形態の園芸鉢用折畳式装飾枠1は、各種鑑賞用植物13を植える略直方体の園芸鉢11の対向する2組の外部側壁のうち長さが長い方の組の外部側壁の一方を覆う木製の主壁部材2と、前記外部側壁のうち長さが短い方の組の外部側壁の各々を覆い前記主壁部材2の両端に内側へ折畳み可能に連結支持された2つの木製の折畳壁部材3、4と、前記外部側壁のうち長さが長い方の組の外部側壁の他方を覆い2つの前記折畳壁部材3、4の端部に着脱可能に嵌着される木製の嵌着壁部材5とを備えている。

【0026】したがって、本実施形態の園芸鉢用折畳式装飾枠1は、簡単に組立てることができ、その収容空間1a内に園芸鉢11を収容することにより、園芸鉢11の外部側壁を本物の木板で覆い隠すことができるので、園芸鉢11に植えられた各種鑑賞用植物13を周囲の自然と調和させることができる。しかも、必要に応じて、

5

嵌着壁部材5を折畳壁部材3、4の端部から離脱させて折畳壁部材3、4を折畳めば、全体の大きさが簡単に小さくなるので、運搬効率及び収納効率を向上させることができる。

【0027】また、本実施形態の園芸鉢用折畳式裝飾枠1は、園芸鉢用折畳式裝飾枠の設置面との接触部分に、部分的に切り欠かれた内側より外側へと通じる切欠部2a、3a、4aが設けられている。したがって、園芸鉢11の周囲を覆い隠す通常の使用状態で、設置面を流れる雨水等の移動を妨げないので、園芸鉢11内に注がれた雨水等の水の余剰分の排水が容易にできる。

【0028】ところで、上記説明では、折畳壁部材3、4を主壁部材2の両端に内側へ折畳み可能に連結支持するのに、蝶番6を使用したのが、必ずしも蝶番6に限定される必要性はなく、蝶番6以外のものを使用してもよい。また、切欠部2a、3a、4aの数及び形状は、特に、限定されるものではない。

【0029】

【発明の効果】以上のように、請求項1の発明の園芸鉢用折畳式裝飾枠は、園芸鉢の外部側壁を本物の木で覆い隠すことができるので、園芸鉢に植えられた各種鑑賞用植物を周囲の自然と調和させることができる。また、必要に応じて、嵌着壁部材を折畳壁部材から離脱させて折畳壁部材を折畳めば、全体の大きさが小さくなるので、運搬効率及び収納効率を向上させることができる。

6

【0030】請求項2の発明の園芸鉢用折畳式裝飾枠は、請求項1の園芸鉢用折畳式裝飾枠の効果に加えて、園芸鉢用折畳式裝飾枠を組立て、その収容空間内に園芸鉢を収容した状態で、設置面を流れる雨水等の移動を妨げないので、園芸鉢内に注がれた雨水等の水の余剰分の排水が容易にできる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施形態である園芸鉢用折畳式裝飾枠を示す分解斜視図である。

【図2】本発明の一実施形態である園芸鉢用折畳式裝飾枠の使用状態を示す斜視図である。

【図3】図2の縦断面を示す断面図である。

【符号の説明】

1 園芸鉢用折畳式裝飾枠

1a 収容空間

2 主壁部材

2a、3a、3b、4a、4b、5a 切欠部

3、4 折畳壁部材

3c、4c 凹状溝

3d 係止部

5 嵌着壁部材

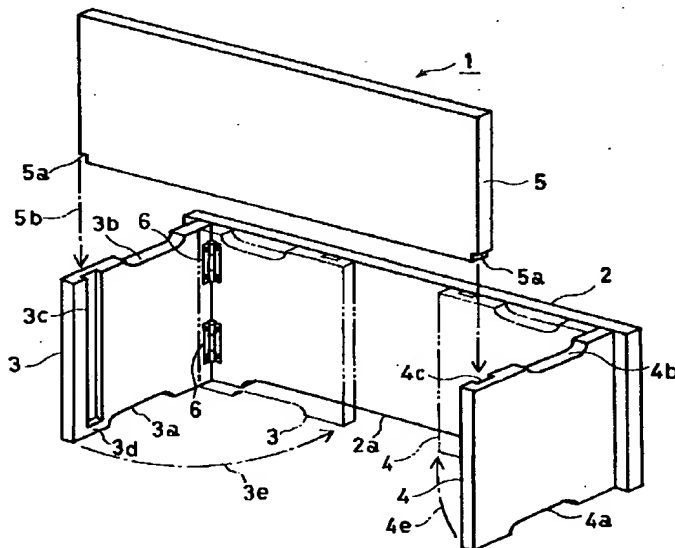
6 蝶番

11 園芸鉢

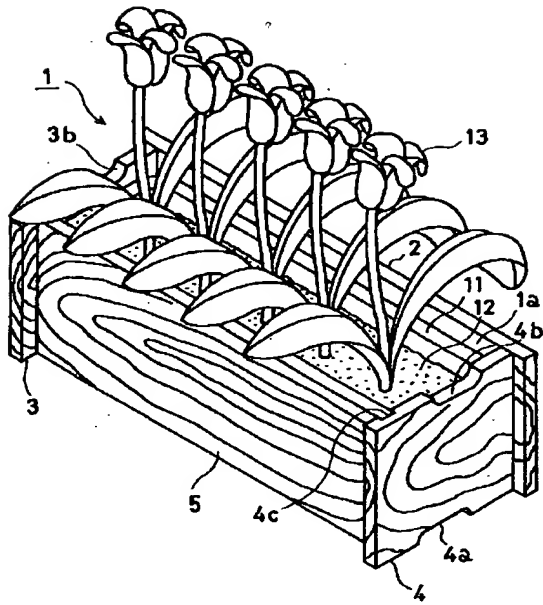
12 土

13 鑑賞用植物

【図1】



【図2】



【図3】

